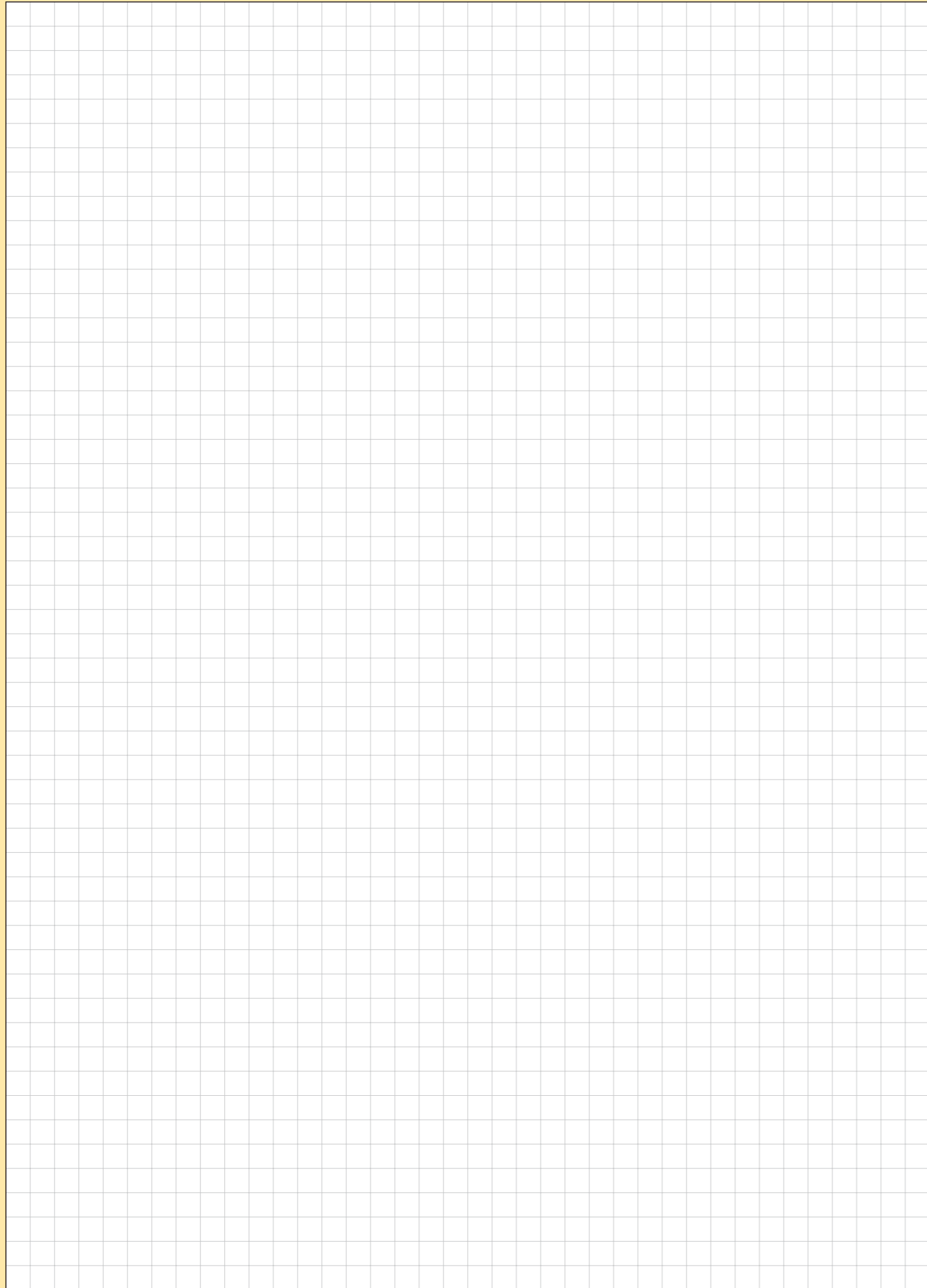


◎アイデアをイメージできる絵や図、試作品等の写真、各部の解説文等をご記入ください。
◎記入は、ボールペン・サインペンなどインク類を用い、鉛筆書きは避けてください。
不足する場合は、別紙追加を可としますがA4サイズを用いてください。



福祉用具 第13回 アイデアコンテスト

福祉機器や福祉用具、ユニバーサルデザイン、
障がいの有無にかかわらず利用者ニーズに配慮したサービス…
誰もが快適に暮らせるためのアイデアを募集します。

あなたの浮かんだアイデアを
カタチにしてみましょう！



自由課題

高齢者、障がいのある人、妊婦さん、幼い子どもたちなど

誰もが快適に暮らせるための「もの」や「サービス」の工夫

特定課題

自然災害に負けない知恵と工夫

～人や暮らしを支える機器・道具・サービスを考える～

主催 日本福祉大学健康科学部

共催 日本福祉大学福祉テクノロジーセンター

後援 愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、三重県教育委員会、半田市、大府市、東海市、名古屋市教育委員会、
半田市教育委員会、大府商工会議所、財団法人 共用品推進機構、日本弁理士会東海支部、豊田通商株式会社、
株式会社シルバー産業新聞社、キヨタ株式会社、株式会社アンデコール

応募締切 **2016年9月12日(月)** 必着

問合せ先 日本福祉大学 福祉用具アイデアコンテスト係
TEL (0569)20-0131 FAX (0569)20-0119 ホームページ <http://www.n-fukushi.ac.jp/fkidea/index.html>



第13回 福祉用具 アイデアコンテスト 募集要項

自由課題

高齢者、障がいのある人、妊婦さん、幼い子どもたちなど

誰もが快適に暮らせるための「もの」や「サービス」の工夫

参考：公益財団法人 共用品推進機構ホームページ <http://www.kyoyohin.org>

特定課題

自然災害に負けない知恵と工夫

～人や暮らしを支える機器・道具・サービスを考える～

地震や水害、火災など、自然災害は予期せず起こります。マンションや家屋などからの避難、救助活動や安否確認、避難所での暮らし方やさまざまな身体的心理的ケアなど、障がいのある人や高齢者をはじめとする災害弱者の安全を守るためにはどのようなものがあると良いでしょうか。妊婦さんや乳児を抱える人、危険を知らせる情報を理解することや、普段とは異なる生活環境に慣れるのが難しい人なども災害弱者となるでしょう。このような人々の暮らしを支える機器・道具や情報技術の活用、サービスや環境整備などを考えてみましょう！

***自由課題、特定課題 のどちらでも(両方でも可)応募することができます。**

応募資格

全国の高校生(個人またはチーム)

応募方法

＜個人やチームで応募する場合＞

応募用紙に必要事項を記入し、郵送で提出してください。

＜クラスや団体でまとめて応募する場合＞

別紙(様式自由)に学校の郵便番号、住所、電話番号、学校名、担任または担当の先生の氏名、総応募点数を明記して添付してください。

応募用紙

この要項に添付のほか、日本福祉大学ホームページからダウンロードすることもできます。<http://www.n-fukushi.ac.jp/>

応募締切

2016年9月12日(月) 必着

結果発表、表彰・賞品

自由課題、特定課題について、それぞれ最優秀賞1名、優秀賞2名ほかを選出します。なお、最優秀賞には3万円分の図書カードおよび記念品、優秀賞には1万円分の図書カードおよび記念品を贈ります。結果は、2016年10月中旬までに日本福祉大学ホームページ上で発表します。

また、2016年10月23日(日)日本福祉大学健康科学部(半田キャンパス)オープンキャンパスにて、表彰式を実施いたします。

応募先・お問い合わせ先

日本福祉大学 福祉用具アイデアコンテスト係(日本福祉大学 半田事務室)

〒475-0012 愛知県半田市東生見町26-2 TEL (0569) 20-0111 FAX (0569) 20-0119

健康科学部 福祉工学科 AO入学試験出願を検討している方へ

2017年3月に高等学校を卒業見込みの方について、この「福祉用具アイデアコンテスト」への応募は、健康科学部福祉工学科のAO入学試験における「求める人物像」の趣旨にかなうものとしています。

詳しくは、日本福祉大学入学広報課(0569-87-2212)までお問い合わせください。

審査員

審査委員長

福田 秀志(日本福祉大学健康科学部長)

審査員

渡辺 泰典(豊田通商株式会社 食料・生活産業本部 ヘルスケア部 部長)

星川 安之(公益財団法人 共用品推進機構 専務理事)

安田 勝紀(株式会社シルバー産業新聞 編集長)

清田 明彦(キヨタ株式会社 代表取締役社長)

小島 直子(株式会社アンデコール 代表取締役) 他

注意事項

○応募作品(最終的に応募者の作品として公表されるものを含む)に関する著作権等の知的財産権は、応募者に帰属するものとします。

○優れた作品については、入賞作品として公表される前に、希望により本学教員の助言・指導を受けることができます。

○入賞作品の公表時期・公表手段・公表内容等については、大学のスケジュール・決定に基づくものとします。

○結果発表後、応募作品を大学における教育・研究対象とさせていただきます。これらの場合、事前に大学から問い合わせを致しますのでご協力ください。

○実用性が高いと評価された応募作品については、応募者の希望に応じて、その製品化および特許出願等の権利化について、可能な範囲での助言、企業・専門家の紹介等の支援を行うことができます。

第13回 福祉用具アイデアコンテスト応募用紙

日本福祉大学

① 応募課題 *いずれかに○印

選択欄	応募課題区分
<input type="checkbox"/>	自由課題：誰もが快適に暮らせるための「もの」や「サービス」の工夫
<input type="checkbox"/>	特定課題：自然災害に負けない知恵と工夫 ～人や暮らしを支える機器・道具・サービスを考える～

② アイデアの名称

③ どんな人(対象者)のために、どんな困りごとを解決するアイデアですか?

*対象者例: 肢体不自由・視覚障害・聴覚障害・知的障害・発達障害・高齢者・その他

④ このアイデアを利用すると、どんな良い点や効果がありますか?

⑤ その他、このアイデアのPRポイントをご記入ください

*裏面にアイデアをイメージできる絵や図、試作品等の写真、各部の解説文をご記入ください。

⑥ 応募者の情報

応募者氏名	(フリガナ)		
	*チームの場合は全員の氏名を記入(代表者に○印)		
高校名・学年	都道府県	高校	年組
応募者住所	〒 - / () -		
	*チームの場合は代表者の住所		
電話番号/FAX	() -	/ ()	-
E-mail	@		

*応募期限 2016年9月12日(月) 必着

*クラスや団体でまとめて応募する場合は、別紙(様式自由)に学校名、住所(郵便番号)、電話番号、担任または担当の先生の氏名、総応募点数を明記して添付してください。

*応募者の個人情報、本コンテスト(日本福祉大学が入賞者への連絡・確認、発表および入賞作品集等の送付)及び大学案内等の送付(希望される方)のみに使用します。

受付日(記入不要)	月 日
受付番号(記入不要)	

大学案内などの資料送付希望 有・無 *いずれかに○印

住所(送付先)	〒 -	氏名	
電話番号	() -	E-mail	@